

平成14年度決算報告

市税は、6年連続で100億円以上

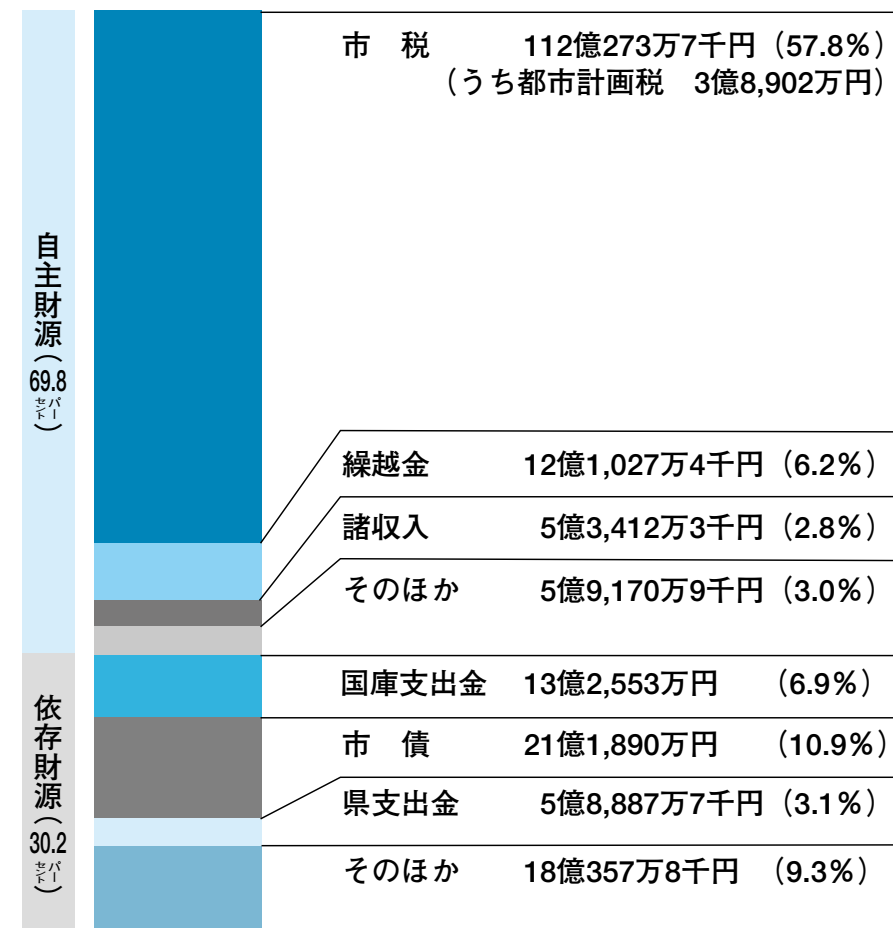
歳出総額 175億6,680万8千円

歳入総額 193億7,572万8千円

- 土木費
道路、河川、公園などにかかったお金
- 教育費
小・中学校や幼稚園、社会教育やスポーツなどにかかったお金
- 民生費
保育園や児童館、子供の医療費の助成などにかかったお金
- 総務費
市庁舎の維持など、市役所の運営にかかったお金
- 公債費
事業を行うために借り入れたお金の返済金
- 衛生費
市民の病気予防や美化センターなどにかかったお金
- 消防費
消防庁舎の建設など、消防活動にかかったお金
- そのほか
農林水産業費、労働費、諸支出金、商工費、議会費など

土木費	39億2,425万2千円 (22.3%)	(うち都市計画費 17億1,156万1千円)
教育費	27億7,916万円 (15.8%)	
民生費	27億4,548万3千円 (15.6%)	
総務費	22億5,007万8千円 (12.8%)	
公債費	16億2,690万3千円 (9.3%)	
衛生費	15億3,112万5千円 (8.7%)	
消防費	13億2,690万6千円 (7.6%)	
そのほか	13億8,290万1千円 (7.9%)	

市税 112億273万7千円 (57.8%)
(うち都市計画税 3億8,902万円)



- 市税
市民の皆さんや会社などの法人に納めていただいた税金
- 繰越金
前年度の剰余金
- 諸収入
延滞金、預金利子、雑入、貸付収入など
- そのほか
分担金と負担金、使用料と手数料、財産収入、寄附金など
- 国庫支出金
事業を行うために国から交付される補助金など
- 市債
事業を行うために借り入れたお金
- 県支出金
事業を行うために県から交付される補助金など
- そのほか
地方消費税交付金、地方譲与税、利子割交付金など

一般会計

平成14年度の一般会計の最終予算総額は、繰越事業費十一億二千八百八千円と、補正予算額四億二千五百万円を加えた、百八十五億九千万八千円となりました。前年度に比べ〇・五割、八千五百六万四千円減少しました。

歳入

歳入決算額は、百九十三億七千五百七十二万八千円でした。前年度に比べ四・三割、七億八千九百九十四万九千円増加しました。予算に対する執行率は百四・二割でした。

歳出

歳出決算額は、百七十五億六千六百八十八万八千円でした。前年度に比べ二・九割、四億九千九百三十三万三千円増加しました。執行率は九十四・五割でした。

差引額

歳入と歳出の差引額は、十八億八百九十二万円でした。翌年度に繰り越す財源二億九千八百八十五万一千円を差し引いた実質差引額は、十五億一千六万九千円でした。このうち地方自治法の規定により、財政調整基金に八億円を繰り入れました。

歳出の目的別経費の特色

民生費は、国保特別会計への繰り出しと扶助費により増加しました。
土木費は、緊急地方道路整備・街路整備・土地区画整理事業により増加しました。
消防費は、新消防庁舎建設や備品購入により増加しました。
教育費は、東小学校屋内運動場及びコミュニティ施設建設により増加しました。
労働費は、ワークプラザ建設完了により減少しました。